

公益財団法人あしたの日本を創る協会のアウトライン

協会設立の目的

戦後復興のため各地で、因習の打破、環境衛生の改善、生活や社会を合理化・民主化して町や村を再建していこうとする新生活運動が生まれました。昭和30年、当時の鳩山一郎首相は、国の積極的支援を提唱し、あしたの日本を創る協会の前身である財団法人新生活運動協会が設立されました。

昭和57年には、コミュニティづくりを目標に掲げ、名称を財団法人あしたの日本を創る協会に改称して、地域づくりに取り組む人たちの支援・顕彰・情報提供を進めてきました。平成22年10月には公益財団法人あしたの日本を創る協会となりました。

公益財団法人あしたの日本を創る協会は、自分たちの住む地域社会を良くしていこうとする地域住民の活動を支援することにより、地域社会の健全な発展をめざし、もって真に豊かで住みよいあしたの日本の建設に寄与することを目的として、つぎのような事業を進めています。

地域活動団体に関する育成・支援事業

都道府県協議会等を通じて生活学校・生活会議等の地域活動団体への支援、全国生活学校連絡協議会・まちむら全国ネットへの活動支援、運動推進功労者・優れた地域活動団体の顕彰事業を行なっています。



①【生活学校】

女性を中心に、身近な暮らしの中の問題を、学び、調べ、企業や行政と話し合い、ほかのグループとも協力し合いながら、実践活動のなかで解決し、生活や地域や社会のあり方を変えていく活動です。全国に約635の生活学校があります。



②【生活会議】

地域で起こる様々な問題を、住民同士、グループ同士、行政や企業との話し合い、地域のまとめ役として実践活動を通じて解決することにより、快適で安全な住みよい地域社会を創っていく活動です。全国に約811の生活会議があります。

【これまでの主な活動成果】

生活学校運動、生活会議運動では、全国各地長年にわたり活動を続けてきましたが、その活動成果の一端を紹介すれば次のようなものがあげられます。

- 有害な食品添加物の追放
- 飲用缶飲み口の改善(スティオンタブへの転換)
- 安心・安全な地域社会のための地域将来計画の策定とその実施
- 休日当番医制度の確立
- 禁煙車両の導入
- 家電品修理体制の確立
- レジ袋削減全国運動の展開(平成20年度環境大臣受賞)

地域活動に関する情報の収集及び提供事業

- 情報誌「まちむら」の発行(年4回発行)
自治会・町内会をはじめ、地域活動団体の紹介や専門家、実践活動家の論文・提言などを提供しています。
- 情報誌「私たちの生活学校」の発行(年6回発行)
生活学校が取り組むテーマなどについての情報や専門的な知識を提供しています。
- 啓発用チラシ「国民の祝日と私たち」(年4回発行)
国民の祝日の意義、趣旨等がさらに広く一般国民に周知、理解されるように努めています。



地域活動に関する顕彰事業 —あしたのまち・くらしづくり活動賞の実施—

- 活動団体の顕彰
先進的な事例として他の参考となるものを顕彰するあしたのまち・くらしづくり活動賞を実施しています。
- 事例集「あしたのまち・くらしづくり」の発行(年1回発行)
あしたのまち・くらしづくり活動賞入賞団体の活動レポートをまとめた事例集を発行しています。
- 表彰式・交流のつどいの開催
あしたのまち・くらしづくり活動賞の表彰式、入賞団体の活動紹介、地域活動についての討議、交流のつどいなどを行なっています。



地域活動に関する相談・助言事業

先進的な取り組み事例や講師等の紹介・あっせん、さらには運営等に関する相談・助言などにも応じています。

地域活動に関する各種集会等の開催事業

- あしたのまち・くらしづくり全国フォーラムの開催
分科会、全体会等で当面する諸課題の解決方法や今後の活動の進め方について研究討議を行なっています。
- ブロック研究会の開催
問題解決に向けた運動の進め方などについて討議し、今後の活動に活かしていくことを目的に、全国5ブロックで開催しています。
- 全国市民憲章運動推進協議会への支援
各市が制定し、運動を展開している市民憲章運動の全国大会への支援を行なっています。

